

# 事業報告書

平成28年度

平成28年4月1日～平成29年3月31日

学校法人 大阪キリスト教学院

理事長 今井 洋

聖愛幼稚園 園長 清水 千鶴

学校法人 大阪キリスト教学院 聖愛幼稚園  
平成 28 年度(2016 年度) 事業報告書  
【2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日】

## 1. 事業報告

### ①法人の概要

- 名称：学校法人大阪キリスト教学院 聖愛幼稚園
- 住所：大阪市阿倍野区丸山通 1 丁目 3 番 61 号  
電話番号 06-6651-8039  
FAX 06-6651-8039  
ホームページ <http://www.seiai-kindergarten.jp/>
- 定員：170 名（実員：155 名 2017 年 3 月 1 日現在）
- 教職員の状況  
園長 1 名 主任 1 名 学級担任 7 名 フリー教諭 13 名  
子育て支援担当教諭 2 名 職員 1 名

### ② 事業の概要

#### ○本園の教育目的及び方針

キリスト教精神に基づき、幼児期より宗教心を育み命の大切さや感謝の心を育てる保育を行っている。園児ひとりひとりの個性を大切に、幼児が遊びの中で主体性を発揮し、心の通う保育をすすめている。また、集団生活の中で感謝、思いやり、勇気、責任感、探究心、忍耐、協調性などの自主性、社会性の小さな芽を育てている。幼児ひとりひとりが喜びにあふれ、心満たされる園生活の中で健康で心豊かに神と人にと愛され、喜ばれる人として成長できるような保育を目指している。

#### ○在園児数(2017 年 3 月 1 日現在)

3 歳児：53 名(2 クラス)	} 合計 155 名
4 歳児：44 名(2 クラス)	
5 歳児：58 名(2 クラス)	

#### ○開園時間 月～土 7:30～19:00

#### ○休園日 日曜、祝日、夏季(8 月 13 日～15 日) 年末年始(12 月 29 日～1 月 4 日)、創立記念日

#### ○保育時間

月・火・木・金	9:00～14:00
水	9:00～12:00
土	休園

○預かり保育

月～金 早朝保育 7:30～9:00 保育終了後～19:00  
土 7:30～19:00

○保育料及び諸経費

保育料：22,000円  
教育充実費：20,000円(年間)  
おやつ費：700円(8月を除く)  
PTA会費：月1,000円(8月3月を除く)

○入園時費用

入園検定料：5,000円 入園料：50,000円  
用品及び制服代：26,000円

○その他 子育て支援等

2歳児クラス(りす組)・・・毎日コース・月木コース・火金コース  
園庭開放『元気いっぱい広場』・・・毎週水曜日9:30～15:00  
図書室開放『絵本大好き』・・・月1回水曜日9:30～10:30  
子育てサークル『みんなにここにこ』・・・年間12回  
バイブルクラス・・・月1回 水曜日10:30～12:00  
子育て相談室・・・『ふれあいカフェ』月1回 水曜日9:30～12:00  
電話相談 月～金9:30～16:00  
キンダーカウンセラーによる相談 月1回9:30～16:30

○行事の実施状況

- 4月 入園式・クラス参観・クラス懇談・PTA総会
- 5月 一日動物園・園外保育・眼科検診・内科検診・クラス懇談
- 6月 歯科検診・耳鼻科検診・じゃが芋掘り・花の日礼拝・園外保育・親子登園日  
プール開き・森の幼稚園
- 7月 宿泊保育・個人懇談・夕涼み会・森の幼稚園報告会・卒園生同窓会
- 8月 プール開放
- 9月 祖父母の日・入園説明会・園外保育・森の幼稚園
- 10月 運動会・教会学校出席・芋ほり・親子遠足・森の幼稚園報告会・みかん狩り  
2歳児クラス説明会・防犯教室
- 11月 個人懇談・新入園児面接・収穫感謝祭・森の幼稚園
- 12月 園児クリスマス会・PTAクリスマス会・卒園生クリスマス会  
未就園児クリスマス会
- 1月 もちつき・森の幼稚園
- 2月 お別れ遠足・雪遊び・一日入園・森の幼稚園
- 3月 お別れ会・卒園式・終了式・森の幼稚園

## 2. 学校評価

平成29年7月作成 聖愛幼稚園

### 1. 本園の教育目標

教育基本法、学校教育法および幼稚園教育要領に従い、キリスト教の精神に基づいて保育し、子ども一人ひとりが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造性を豊に、心身ともに健やかに育つことを目標としている。

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領や教育課程の内容を全教職員が確認し共通理解を図ることによって教育の質を高め、さらには保護者のニーズをも確認して園の存在価値や独自性をより高めることに努める。

### 3. 点検・評価項目<抜粋>の達成および取り組み状況

点検・評価項目	取り組み状況
建学の理念や幼稚園教育要領に沿って園の教育理念、教育目標を定め教育課程を作成している。	より多くの教職員が研修や研究会に参加し、また教師会や教職員間で学びや確認の時を持ち、機会のあるたびに話題に上げて理解を深めるよう努めている。
教育課程は子どもの発達の状況や実態などをもとに作成している。	園の教育理念や教育方針をより深く理解しながら、一人ひとりの子どもをありのままに受け止め、子どもの様子や成長に合わせ、実態に即した教育課程を作成している。
子どもの実態を的確につかみ具体的な手立てを講じながら日々子どもに対応している。	登園から降園までの一日の流れのなかで一人ひとりの子どもの動きを通して、心身の健康状態をはじめ子どものパーソナリティーや長所等を理解して、保育の場に生かせるよう努めている。また、就労している保護者も増え、長時間の預かり保育児童も多くなってきている。預かり保育の充実にも力を入れている。
遊びを通して工夫したり協力したりするなど、創造性や社会性を育てている。	遊びの発展や様々な子どもの活動に合わせて、遊びの広がりや深まりが持てるよう配慮している。手作り遊具や豊富な教材のある施設環境、さらに「森の幼稚園活動」など、大自然に接する機会も積極的に持っている。また、異年齢児との交流も多く持つように配慮している。

<p>子育て支援をはじめ地域とのかかわりを積極的に計画し実施している。</p>	<p>地域への支援は現在幼稚園の重要な役割となっており、園庭開放や子育てサークル、教育相談、キンダーカウンセリングなど積極的に取り組んでいる。月1回行っている『ふれあいカフェ』や『バイブルクラス』などにも、地域の方々に自由に参加してもらえるようにポスターなどで知らせている。花の日礼拝や収穫感謝祭、敬老の日などには地域の施設などを訪問し、地域に根ざした幼稚園を目指している。</p> <p>また近くの小学校との交流も徐々に進め、幼小連携を強めるために今後も積極的に取り組みへの工夫を重ねていきたい。併設するせいあい保育園の保育士とも協力しながら地域交流の機会を多く持ち、地域の子育て支援の中心となるように努力している。</p>
<p>教職員が研究会や研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努めている。</p>	<p>研究会や研修会に参加し新しい情報や刺激を得ることは、常に質の高い教育の実践を続けていくためには欠かせない。雑務や毎日の仕事に追われて研修の時間が取れない時も多いが、園内や園外の研修をより多く持つことが出来る様にしていきたい。研修で学んだことは教師会等で発表し合い、教師間で共有している。</p>
<p>安全管理や防災活動に定期的に取り組んでいる</p>	<p>火災や地震等の災害に対しては防災意識を高めるために定期的に訓練を実施し、マニュアルを作成して防火、防災管理に努めている。外部からの侵入等に対するチェックなどの安全管理についても24時間守衛をおき監視体制は整っている。また、園内にAEDを設置し教職員は定期的に救命講習を受講している。</p> <p>アレルギー体質の園児も多くいることから、エピペン講習にも積極的に参加し緊急対応できるようにしている。</p>
<p>保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応を図っている。</p>	<p>園児の登降園時や個人懇談等で子どもの様子を伝えたり話し合う機会を設けている。また、保護者のニーズや園に対する意見はしっかり受け止めるよう努め、改善できることは改善している。</p>

4. 学校（幼稚園）自己点検・評価の具体的な目標、計画の総合的な評価結果

学校評価の主旨を理解し、適切に自己点検・評価に取り組んでいる。今後も幼稚園の社会に対する役割の変化をも踏まえながら、客観的な目で自らの保育、教育を振り返り、さらに充実した実践ができるように教職員が力を出し合い努力していきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
施設環境	園内の環境においては保健・衛生、設備、施設の点検等、さらなる環境整備に努め、園児が安全に、安心して生活し、遊ぶことのできる快適な環境になるよう努める。
情報公開の方法	現在、園便り、ポスター掲示、ホームページ等を通して行っているが、さらに地域、一般にもわかりやすいホームページの充実、作成に努める。
自己点検・評価	今後とも教職員一人ひとりが、専門性を高めるためにより高い目標を課題に挙げて取り組むとともに、さらに園の運営の在り方や今後のあるべき方向についても協議し検討を重ねていく。
指導計画の編成	指導計画の作成のために毎年保育者が話し合い編成している。さらに十分な討議をして共通理解を深め、見直すところは見直し、幼稚園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画の作成に取り組めるよう努める。

6. 学校関係者の評価

評価年月日 平成 29 年 7 月 20 日

評価者（保護者：5 歳児 3 名 4 歳児 2 名 3 歳児 2 名）

評価項目（抜粋）	評価
1. 教育（保育）内容や教育方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教精神により、感謝する心、思いやる心、人の痛みがわかる心、勇気や自主性など、子ども達が心豊かに成長できるような保育体制ができており評価できる。</li> <li>・宗教教育に基づいた保育をしており、一人ひとりの個性を大切にしている。たくさんの自然体験をすることで五感を育むという素晴らしい環境を重んじた教育方針に共感できる。</li> <li>・季節ごとの行事や里山活動など、日常生活以外での様々な体験が豊富にでき、子どものあらゆる興味、可能性を引き出す教育内容・方針が評価できる。</li> <li>・自然の中で遊ぶことが出来る里山活動やいも掘り、みかん狩りなど、園外での活動が多く、子ども達が楽しく充実した毎日を過ごせるように配慮されている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教精神の教育方針の基、自尊感情を高める保育が行われており評価できる。また、いつも感謝の気持ちを持つように教育されており、共感できる。</li> <li>・子ども達が明るく元気に育つように、いろいろ配慮されており大変良いと評価できる。</li> <li>・キリスト教保育に基づき、誰もが生まれながらにして神様に愛されている存在だという、幼児期の自己肯定感を育むのに適した教育方針である。また、園外活動では自然との触れ合いが多く、五感を使った遊びを重視しており高く評価できる。</li> </ul>
<p>2. 教育の在り方、幼児への対応について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの個性、気質をよく観察し、見守り、子ども達が安心して園生活が出来る様に愛情いっぱいに接している。</li> <li>・幼児教育の根本である、子どもの意欲を引き出す保育が出来ている。先生の対応は適切である。</li> <li>・集団の中でも、一人ひとりの個性や特技を重視し、子どもの発言に耳を傾け、適切に言葉掛けが行われている点が評価できる。</li> <li>・基本的には子どもの自主性に任せているが、消極的な子どもに対してもきちんとフォロー出来ている。</li> <li>・子ども達一人ひとりの違いを認め、大切に教育している。また、自然との触れ合いを多く取り入れている点も評価できる。</li> <li>・優しさの中にも、時には厳しく躰をし、子ども達に愛を持って接している。</li> <li>・子どもが自分で考え行動できる人間になるよう、手を出しすぎない所が良い。支援が必要な子どもに対しても、無理強いはしないが孤立もさせないという対応が見て取れる。</li> </ul>
<p>3. 教師の資質や、適性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもにこやかで、どんな時にも優しく対応している。どの子どもに対しても強制的にさせるのではなく、自分から進んで出来る様、適切な配慮がなされている。</li> <li>・担任、副担任、全ての先生が子ども達に笑顔で接している。一人ひとりの子ども達の個性を大切にする先生の質は、素晴らしと評価できる。</li> <li>・幼児教育の基礎をしっかりと身に付け、子どもと接する時間や経験を積み重ねた、適切な対応ができる教師が揃っている。</li> <li>・子ども達一人ひとりをよく見ている。また、それぞれの個性を大切にしている。行事の際には、子ども達だけでなく先生たちも一緒に楽しみ、資質は適性である。</li> <li>・経験豊富な先生が多く、安心できる。また、子ども達を包み込んでくれる愛にあふれた先生が多い。</li> <li>・すべての先生方の連携が出来ており、人格・見識ともに高く評価できる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベテランの保育者が多いが、凝り固まった考えや接し方をする方はおらず、より良い方法を常に考え保育にあたっている。</li> </ul>
4. 子育て支援や地域との関わりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、季節に添った内容の「子育て支援サークル」を行っており、園の楽しさと先生方の愛を感じることができる。また、地域に関わる行事を通して、地域の人々への感謝を伝えることが出来ている。</li> <li>・在園の子ども達と一緒に遊ぶことが出来る園庭開放や、園行事に参加できるなど地域との関わりを大切にしている。社会全体で子育てに関わるという、現在の子育て世代の支援が適切にできている。</li> <li>・長年、地域に密着した活動を行っており、園庭開放での交流の場や子育ての相談窓口として、積極的な姿勢がみられる。</li> <li>・専門家のカウンセラーに相談できるキンダーカウンセリングや未就園児の子育てサークルが月1回行われているなど、積極的に子育て支援を行っている。</li> <li>・定期的にカウンセリング行っている。何時でも気軽に相談しやすい雰囲気がある。また、行事の時などには、近隣との関わりを多く持つようにしており評価できる。</li> <li>・多種多様なイベントの開催を実施し、地域との交流を深めるようにしている。</li> <li>・子育てサークル活動や保護者向けの専門家によるキンダーカウンセリング、課外活動など充実している。</li> </ul>
5. 保護者への対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの保護者にも、いつも同じように対応し、悩んだ時には一緒に考え相談できる体制であり安心できる。</li> <li>・園長先生を始め多くの先生方が笑顔で声をかけ、日々の送迎の際にも子どもの様子を知らせてくれるので安心である。また、保護者と同じ目線で子どもの成長を見守っている。</li> <li>・基本的には笑顔で柔軟な対応である。園の方針とする柱がしっかりとしており揺るぎが無いため、時には抑圧的に感じられることもある。</li> <li>・個人懇談の時だけでなく、普段から子どもの様子を知らせてくれるので安心である。</li> <li>・仕事をしている保護者に対しても柔軟に対応しているので評価できる。</li> <li>・説明会など保護者に分かりやすく説明できている。また、保護者からの相談にも適切に対応している。</li> <li>・懇談会以外、日頃から登候園時に子どもの様子を知らせてくれるので信頼できる。</li> </ul>
6. 安全管理等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食、おやつなど食の安全について、産地や添加物などにも配慮している。毎月、避難訓練も行っており評価できる。また、流行性の疾患についても、素早く対応している。</li> <li>・園の出入り口に常時、守衛が駐在しているのでセキュリティー面で安</li> </ul>



	<p>心である。月1回避難訓練を行い、日頃から子どもへの意識付けができており安心である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由な雰囲気子ども一人ひとりが伸び伸びと遊んでいる様子は評価できるが、大人の注意が行き届いているとは限らないと思うので何らかの対策が必要である。</li> <li>・月1回、避難訓練を行い、子ども達が速やかに避難できるように取り組んでいる。園内事故や急病に備え、近隣の医療機関を多く把握しているので安心できる。</li> <li>・登降園時にはいつも先生が門に居るので、安心である。また、短大正門には守衛が居るので安心である。</li> <li>・登降園時には必ず先生が門に立ち、安全管理に努めている。</li> <li>・大学の敷地内に有り、入り口には守衛が居るので安心できる。毎月避難訓練を実施しており評価できる。</li> </ul>
<p>7. 遊具、教材、設備等、園内環境について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強をさせる園ではなく、豊かな園内環境の中で体を使い子どもが自信を付けていくようにしている。また、田植え、野菜作り、虫や動物の世話などを通して命の大切さを学ぶように配慮されている。</li> <li>・遊具、教材、園内環境は充実している。夏の暑さが厳しい時には簡易テントを張るなどして熱中症対策にも配慮しており評価できる。</li> <li>・設備は十分に整っており、大切に使われている。子どもが興味を持つ教材をいつも準備されている。気になる点は、こども園になった時に園庭が狭くなった。</li> <li>・園庭が狭いように感じるが、滑り台、ジャングルジム、砂場などに加え自転車、一輪車、竹馬、ボールなども充実しており子ども達は十分に楽しんでいる。</li> <li>・園庭がもう少し広ければもっと良い。</li> <li>・全てしっかり整備されている。</li> <li>・建物、特にトイレの古さは感じるが、清潔にされ子どもが入りやすいように可愛く工夫されている。遊具は充実している。</li> </ul>

## 7. 財務状況

公認会計士より、適正に処理されているとの報告を受けている。なお今年度も園の財務状況に関して積極的に公開をいたしました。

この公表シートは財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、私立幼稚園版「学校評価ガイド」にある様式（項目）を使用した。

資金収支計算書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	20,527,400
手数料収入	5,000
寄付金収入	58,523
補助金収入	68,812,000
国庫補助金収入	0
大阪府補助金収入	40,279,000
大阪市補助金収入	28,533,000
資産運用収入	0
資産売却収入	9,916
事業収入	14,496,410
受取利息配当金収入	92
雑収入	874,172
小 計	104,783,513
前受金収入	3,000,000
その他の収入	14,254,593
資金収入調整勘定	△5,330,000
他会計からの繰入収入	0
前年度繰越支払資金	15,147,882
【収入の部合計】	131,855,988

支出の部

(単位 円)

科 目	金 額
人件費支出	59,003,166
教育研究経費支出	14,802,581
管理経費支出	5,728,354
借入金等返済支出	0
施設関係支出	356,400
設備関係支出	0
小 計	79,890,501
資産運用支出	20,000,000
その他の支出	12,526,214
資金支出調整勘定	△464,140
他会計への繰入支出	0
翌年度繰越支払資金	19,903,413
【支出の部合計】	131,855,988

聖愛幼稚園

事業活動収支計算書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

教育活動収支

収入の部

(単位 円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	20,527,400
手数料	5,000
寄付金	58,523
補助金	68,812,000
国庫補助金	0
大阪府補助金	40,279,000
大阪市補助金	28,533,000
資産運用収入	0
資産売却差額	0
事業収入	14,496,410
雑収入	874,172
教育活動収入計	104,773,505

支出の部

(単位 円)

科 目	金 額
人件費	59,003,166
教育研究経費	19,119,260
管理経費	5,744,654
徴収不能額等	0
教育活動支出計	83,867,080
教育活動収支差額	20,906,425

教育活動外収支

収入の部

科 目	金 額
受取利息・配当金	92
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	92

教育活動外収支

支出の部

科 目	金 額
借入金等利息	0
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	0

特別収支

収入の部

科 目	金 額
資産売却差額	4,916
その他の特別収入	0
特別収入計	4,916

支出の部

科 目	金 額
資産処分差額	0
その他の特別支出	0
特別支出計	0
特別収支差額	4,916

(参考)

事業活動収入計	104,778,513
---------	-------------

事業活動支出計	83,867,080
---------	------------

基本金組入前当年度収支差額	20,911,433
---------------	------------

## 資金収支計算書

平成 28 年 4 月 1日から  
平成 29 年 3 月 31日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	613,800,000	614,885,300	△ 1,085,300
手数料収入	4,700,000	4,705,000	△ 5,000
寄付金収入	1,100,000	2,079,088	△ 979,088
補助金収入	257,600,000	268,295,104	△ 10,695,104
国庫補助金収入	65,000,000	70,393,000	△ 5,393,000
地方公共団体補助金収入	96,600,000	101,116,894	△ 4,516,894
保育給付費収入	96,000,000	96,785,210	△ 785,210
資産売却収入	0	11,032	△ 11,032
付随事業・収益事業収入	20,200,000	22,257,837	△ 2,057,837
受取利息・配当金収入	12,000,000	12,044,831	△ 44,831
雑収入	34,700,000	37,851,715	△ 3,151,715
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	231,200,000	221,040,500	10,159,500
その他の収入	516,600,000	531,306,684	△ 14,706,684
資金収入調整勘定	△ 352,600,000	△ 357,817,839	5,217,839
前年度繰越支払資金	1,015,000,000	1,015,485,574	△ 485,574
収入の部合計	2,354,300,000	2,372,144,826	△ 17,844,826
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	608,700,000	596,473,260	12,226,740
教育研究経費支出	159,500,000	139,533,093	19,966,907
管理経費支出	129,200,000	127,853,556	1,346,444
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	312,500,000	312,695,392	△ 195,392
設備関係支出	45,500,000	47,488,798	△ 1,988,798
資産運用支出	187,000,000	186,906,717	93,283
その他の支出	172,700,000	181,500,720	△ 8,800,720
[予備費]	(0)		10,000,000
資金支出調整勘定	△ 15,200,000	△ 15,424,633	224,633
翌年度繰越支払資金	744,400,000	795,117,923	△ 50,717,923
支出の部合計	2,354,300,000	2,372,144,826	△ 17,844,826

## 活動区分資金収支計算書

平成 28 年 4 月 1日から

平成 29 年 3 月 31日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

科 目		金額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	614,885,300
	手数料収入	4,705,000
	一般寄付金収入	2,079,088
	経常費等補助金収入	268,295,104
	付随事業収入	22,257,837
	雑収入	37,851,715
	教育活動資金収入計	950,074,044
	支出	
	人件費支出	596,473,260
	教育研究経費支出	139,533,093
	管理経費支出	127,853,556
	教育活動資金支出計	863,859,909
差引	86,214,135	
調整勘定等	△ 124,829,456	
教育活動資金収支差額	△ 38,615,321	
科 目		金額
施設整備等活動による資金収支	収入	
	施設設備寄付金収入	0
	施設設備補助金収入	0
	施設設備売却収入	1,116
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	209,601,400
	減価償却引当特定資産取崩収入	143,000,000
	施設整備等活動資金収入計	352,602,516
	支出	
	施設関係支出	312,695,392
	設備関係支出	47,488,798
	減価償却引当特定資産繰入支出	178,906,717
	施設整備等活動資金支出計	539,090,907
	差引	△ 186,488,391
調整勘定等	0	
施設整備等活動資金収支差額	△ 186,488,391	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 225,103,712	
科 目		金額
その他の活動による資金収支	収入	
	借入金等収入	0
	預り金受入収入	167,642,634
	その他の資産売却収入	9,916
	小計	167,652,550
	受取利息・配当金収入	12,044,831
	その他の活動資金収入計	179,697,381
	支出	
	借入金等利息支出	0
	借入金等返済支出	0
	退職給与引当特定資産繰入支出	8,000,000
	預り金支払支出	166,961,320
	その他の活動資金支出計	174,961,320
差引	4,736,061	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	4,736,061	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 220,367,651	
前年度繰越支払資金	1,015,485,574	
翌年度繰越支払資金	795,117,923	

## 事業活動収支計算書

平成 28 年 4 月 1 日から  
平成 29 年 3 月 31 日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異		
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	613,800,000	614,885,300	△ 1,085,300		
		手数料	4,700,000	4,705,000	△ 5,000		
		寄付金	1,100,000	2,079,088	△ 979,088		
		経常費等補助金	257,600,000	268,295,104	△ 10,695,104		
		国庫補助金収入	65,000,000	70,393,000	△ 5,393,000		
		地方公共団体補助金収入	96,600,000	101,116,894	△ 4,516,894		
		保育給付費収入	96,000,000	96,785,210	△ 785,210		
		付随事業収入	20,200,000	22,257,837	△ 2,057,837		
		雑収入	34,700,000	37,425,856	△ 2,725,856		
		教育活動収入計	932,100,000	949,648,185	△ 17,548,185		
		事業活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
				人件費	601,500,000	582,441,669	19,058,331
		教育研究経費	219,400,000	200,287,051	19,112,949		
		管理経費	146,100,000	145,596,414	503,586		
		徴収不能額等	0	0	0		
		教育活動支出計	967,000,000	928,325,134	38,674,866		
教育活動収支差額			△ 34,900,000	21,323,051	△ 56,223,051		
教育活動外収入の部	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		受取利息・配当金	12,000,000	12,044,831	△ 44,831		
		その他の教育活動外収入	0	0	0		
		教育活動外収入計	12,000,000	12,044,831	△ 44,831		
		教育活動外支出の部	事業活動外支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
				借入金利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0			0	0		
		教育活動外支出計	0	0	0		
教育活動外収支差額			12,000,000	12,044,831	△ 44,831		
経常収支差額			△ 22,900,000	33,367,882	△ 56,267,882		
特別収入の部	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異		
		資産売却差額	9,600,000	9,606,316	△ 6,316		
		その他の特別収入	0	42,183	△ 42,183		
		特別収入計	9,600,000	9,648,499	△ 48,499		
		特別支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
				資産処分差額	3,900,000	4,484,782	△ 584,782
その他の特別支出	0			0	0		
		特別支出計	3,900,000	4,484,782	△ 584,782		
特別収支差額			5,700,000	5,163,717	536,283		
〔予備費〕			0		10,000,000		
			10,000,000		10,000,000		
基本金組入前当年度収支差額			△ 27,200,000	38,531,599	△ 65,731,599		
基本金組入額合計			△ 94,000,000	△ 99,305,921	5,305,921		
当年度収支差額			△ 121,200,000	△ 60,774,322	△ 60,425,678		
前年度繰越収支差額			△ 238,224,000	△ 238,224,470	470		
基本金取崩額			0	9,000,000	△ 9,000,000		
翌年度繰越収支差額			△ 359,424,000	△ 289,998,792	△ 69,425,208		
(参考)							
事業活動収入計			953,700,000	971,341,515	△ 17,641,515		
事業活動支出計			980,900,000	932,809,916	48,090,084		

## 貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,942,580,847	3,820,158,325	122,422,522
有形固定資産	2,797,194,407	2,518,673,602	278,520,805
特定資産	1,145,000,000	1,301,093,283	△ 156,093,283
その他の固定資産	386,440	391,440	△ 5,000
流動資産	827,959,026	1,030,962,400	△ 203,003,374
資産の部合計	4,770,539,873	4,851,120,725	△ 80,580,852
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	273,860,461	288,254,161	△ 14,393,700
流動負債	247,175,531	351,894,282	△ 104,718,751
負債の部合計	521,035,992	640,148,443	△ 119,112,451
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	4,539,502,673	4,449,196,752	90,305,921
第1号基本金	4,473,502,673	4,174,196,752	299,305,921
第2号基本金	0	200,000,000	△ 200,000,000
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	66,000,000	75,000,000	△ 9,000,000
繰越収支差額	△ 289,998,792	△ 238,224,470	△ 51,774,322
純資産の部合計	4,249,503,881	4,210,972,282	38,531,599
負債及び純資産の部合計	4,770,539,873	4,851,120,725	△ 80,580,852

## 財 産 目 録

(平成29年3月31日現在)

科 目	金 額
一 資産額	
(一)基本財産	2,797,270,847 円
1 土地(団地)	
校地	31,483 $m^2$ 596,481,453 円
2 建物	
(1)校舎	15,866 $m^2$ 1,726,648,984 円
(2)構築物	76,085,160 円
3 教具・校具・備品	7,014 点 112,410,096 円
4 図書	115,150 冊 284,380,714 円
5 建設仮勘定	1,188,000 円
6 電話加入権	76,440 円
(二)運用財産	1,973,269,026 円
1 預金、現金	795,117,923 円
2 特定引当資産	1,145,000,000 円
3 有価証券他	33,151,103 円
合 計	4,770,539,873 円
二 負債額	521,035,992 円
1 固定負債	273,860,461 円
(1)退職引当金	271,956,205 円
(2)長期未払金	1,904,256 円
2 流動負債	247,175,531 円
(2)未払金	15,349,873 円
(1)前受金	221,040,500 円
(3)預り金	10,785,158 円
正味財産	4,249,503,881 円



平成29年5月22日

学校法人 大阪キリスト教学院  
理 事 会 御 中

監 事 山 下 佳 弘



監 事 東 幸 生



### 監 査 報 告 書

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人大阪キリスト教学院寄附行為第17条に基づき、学校法人大阪キリスト教学院の平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の学校法人の業務及び財産の状況について監査を行いました。

私たちは学校法人大阪キリスト教学院監事監査規程に準拠し、理事会に出席し業務の報告を聴き、監査を行うに際しては5月12日、5月17日に重要な決裁書類等を閲覧すると共に大阪キリスト教学院が監査を委託する公認会計士（大西仁幸氏及び横井俊幸氏）から私立学校振興助成法に基づく監査の状況について説明を聞くなど、本学院の業務及び財産の状況について必要と認めた監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関し、不正行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重要な事実はないものと認めます。

なお、今年度は4年制大学設置認可申請取下げという予想外の事態に至っておりますので、なぜ認可申請取下げに至ったのかその原因究明結果を踏まえ、次回の認可申請に向けて早期に事務管理体制を整備・強化するよう勧告させていただきます。

以上